

牛肉のマカオ輸出

国内の牛肉消費低迷から、新たな販路として、牛肉の高級部位を中心にマカオへの輸出を計画する食肉業者が相次いでいる。食肉卸のミートコンパニオンは、グループ会社のアグリリス・ワン和光ミートセンター（埼玉県和光市）による輸出を原産国として厚生労働省に申請、このほどマカオ政府から認可を受けた。サンキョーミート（鹿児島県志布志市）も同様に認可され、親会社の伊藤ハムが商社を通じてマカオへの牛肉輸出に乗り出す。

マカオへの輸出が認可されたと畜場・食肉処理場は28日までで、J A宮崎経済連の協同会社、ミヤチクの高崎工場（高崎県都市）など5業者6施設。このうち、ミヤチ

新たに2社参入

富裕層向けに高級部位

4、A3等級と交雑種（F1）のA3等級のロースなどを扱い、軌道に乗れば1カ月で200頭分の輸出を目指す。早ければ来月中にも輸出する。同センターで畜解体後、余分な牛脂をカットし、真空パックして冷凍、中国産鮮野菜の9月の輸入量が2万4800

「枝肉換算で今の相場より1キログラム1000～1500円高い水準」としている。同社は「買気の低迷で消費者に節約志向が浸透し、ロースなど高級部位が売れていない。再生産可能な適正価格へ働き掛けをするのが流通業者の役割」とマカオへの輸出の意義を強調。「マカオ

の富裕層向けに高級部位を輸出することで、牛枝肉相場を回復させたい」と期待する。

環境保全米 東京でPR

宮城県が試食会

た。迷を等買いがいる。加下冷凍を一般は前

中国産 生鮮野菜

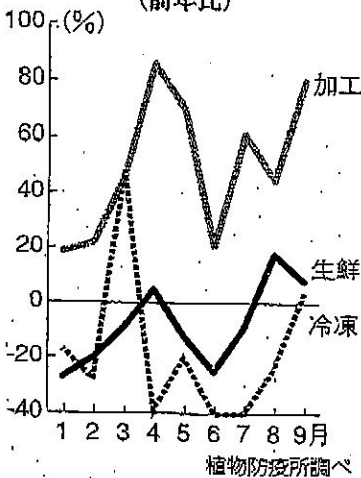
2カ月連続増

と前年より8%増えたことが、農水省の植物防疫統計で28日までに分かった。2カ月連続で前年を上回ったのは今年初めて。

熊本経済連 冬春 出荷計画

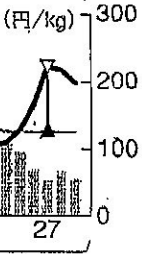
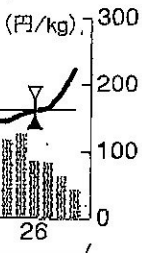
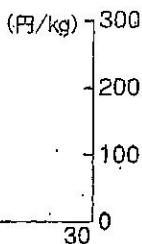
主要品目は、国産が品薄高となった影響を受けてニンジンが28%増、タマネギが4%増となった。またキャベツが前年比6・7倍、ニンニクが

2009年中国産野菜の輸入数量 (前年比)



中国産生鮮野菜の9月の輸入量が2万4800

た。迷を等買いがいる。加下冷凍を一般は前



市況

始めるで特売号の彼からの湯が続

掲載)

高値 安値

